

2022年2月14日

関西学院同窓会

会長 西名弘明 様

関西学院同窓会高槻・島本支部

支部長 稲垣豊典

### 特別奨励金への応募について

貴同窓会本部にはいつも支部活動にご支援をいただき、厚く感謝申し上げます。

さて、高槻・島本支部は昨年4月27日に「ホームページ交流広場上における特集企画による支部活動の活性化策について」として支部活性化支援金への応募をいたしました。その実施状況についてご報告しますとともに特別奨励金への応募をさせていただくこととしました。

#### 1 支部活性化策の趣旨

コロナ禍により支部活動が停滞し、コミュニケーションが少なくなる中、「新型コロナは私の日常生活をこんな風に変えた」とのテーマで、ホームページ上で会員間の交流を図り、また、各会員の活動状況を周知する目的で投稿を募ったものです。

## 2 実施状況

- ・ 投稿件数は11件となり、会員のコロナ禍による日常生活の変化には多くの会員の共感を呼びました
- ・ ドイツ支部との交流につきましては別途意見交換会も設けられ日独の生活慣習の違いや考え方などについて意見の交換もされ、支部間の交流に発展しました。
- ・ 特筆することとして、本年1月6日掲載の「コロナ禍の天神さん（上宮天満宮）での地域貢献活動」です。天神さんは高槻市民ならどなたもご存じで、年間の催事を通じ、市民に愛されている身近なお宮さんです。

このボランティア活動は、2017年12月から当支部の有志によって始まりました。特に2019年からは年間計画に基づいて計画的に作業を続けてきました。作業の中心は、神社境内にある6,000坪の竹林の整備であります。ご承知の通り竹は極めて生命力が旺盛なため、美竹林にするには年間を通じての管理、整備が大切で、また良い筍を採取するためにも必要です。加えて、間伐した青竹を活用して参道沿いなどの竹垣の製作（取替）も行います。

竹林の整備は1昨年来のコロナ禍の状況にあっても、相手が植物でもあり休むことなく続けてきました。幸い広大な敷地の屋外の作業であり、感染もなく現在に至っています。

### 3 認められる効果

① コロナ禍により会員間のコミュニケーションに制約のある中、この企画を発端として、ホームページを通じ、また、インターネット、電話などの手段で投稿者と会員の間で交流が活発になっています。

② 支部会員の友人でドイツ赴任中の同窓生をドイツ支部に紹介することが出来ました。また、ドイツ支部会員の一時帰国時や退職帰国者との交流も生まれました。

③ 個別事例では、当支部有志によるコロナ禍の天神さん（上宮天満宮）での地道な地域貢献活動は初詣などの催事を通じて市民の間に知られてきました。特に春先に筍をプレゼントする、保育園、認定こども園、障害者施設、高齢者施設等 20 数か所の市内各施設からは感謝をいただき、神社からも本活動を高く評価していただいています。

支部の会員においては今回の投稿を発端として知られた方も多く、改めて本活動と地元への貢献を認識しているところです。


(余談ですが)

上宮天満宮の境内は、明智光秀と秀吉の山崎合戦（天王山の戦い）における秀吉の本陣跡です。

以上

問合せ先 広報責任者 夏目 剛

natch0827@yahoo.co.jp

 090-5362-4894